

## J02-02 レール

Slides : Tracks

### 1 スライディングシートとレール

Track (Rail)

スライディングシート(座席)を載せるレールは、ネジで固定され、前後位置を調整できる構造になっています。

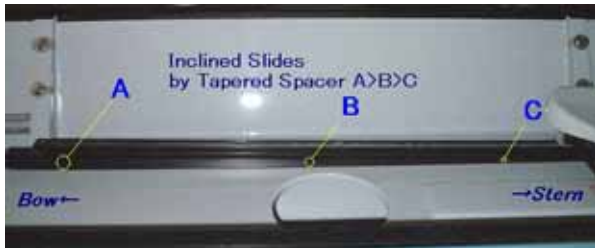


レールとシート

### 2 レールテーパ

Inclined Slides

レールは一般に、フロントストップ(後述)側にわずかに傾斜していて、これを「レールテーパ」と呼びます。水平なデッキとレールの間に、楔(くさび)状のスペーサが挟んであるタイプと、デッキパネル自体が傾斜しているタイプがあります。



テーパード・スペーサをはさむタイプ



レールを載せるデッキ自体が傾斜しているタイプ

### 3 フロントストップとバックストップ

Front stop, Back stop

レールの先端にはフロントストップが、後端にはバックストップがあり、シートが外れないようになっています。



フロントストップ、バックストップは、小さいけれど大切な部品

レール(トラック)は、シート(漕手の座席)を前後に滑らせるためのものである。乗艇前・後、常に丁寧に点検とクリーニングが必要な部分でもある。

### 4 取扱と日常整備

Maintenance

#### 4.1 日常の手入れ

日常的な整備として、乗艇後は十分に洗い、その際、特にレールの溝を、ウェスなどで拭き、きれいな状態を保ち、シリコンブレーなどを吹いておきましょう。摩耗や亀裂、固定ネジ周辺の腐食、固定状態などもよく注意して点検しましょう。

黒く汚れたままのレールは、整備不良です。

#### 4.2 定期的な整備

アルミレールをステンレスボルトで固定するタイプでは、特に海域で使うと、短期間で電食が発生し、放置しておくですぐにひどい状態になります。乗艇後の水洗だけでなく、定期的に分解・クリーニングを頻繁にすることが大切です。

海域では、少なくとも毎月1回、分解してきれいにクリーニング&防錆処理すべきです。淡水域でも、約3カ月ごとにクリーニングしたいものです。



特に海水域では、十分な水洗いをしないと軽合金の電食が進む。

#### 4.3 固定位置でわかるリギングの繊細さ

左右のレールの前後位置を正確に揃えておきましょう。左右のレール位置が違っていると、前に出しすぎたレールが無駄であるばかりでなく、フロントストップにローラーが当たったときシートを回転させ、脱線の原因になります。



左右のレールは正確にそろえる。ずれると脱線のリスクが高まる。